

asr::util::logger テスト仕様書

目次

1. 単体テスト	1
1.1. asr::util 名前空間	1
1.2. asr::util::logger 名前空間	2

1. 単体テスト

1.1. `asr::util` 名前空間

1.1.1. `Logger` クラス

`Logger(std::unique_ptr<logger::ILogger>&& the_impl)`

正常/異常	事前状態・入力値	期待値・状態
正常系	<code>the_impl</code> : 非nullptr	正常終了
異常系	<code>the_impl</code> : nullptr	<ul style="list-style-type: none">例外 <code>std::runtime_error</code> 発生メッセージ <code>ILogger was nullptr</code>

```
void output(const Level the_log_level, const std::string& the_file_name, const int
the_line_number, const std::string& the_function_name, const std::string&
the_message)
```

方針

- デフォルト構築した `Logger` を用いる。
- `the_log_level` に対する6段階 (`VBS` ~ `FTL`) の指定をそれぞれテストする。
- それ以外の引数にはそれぞれ異なる値を指定し、結果文字列を確認する。
 - ログに出力される文字列: "ファイル名,行番号,関数名,メッセージ"

正常/異常	事前状態	入力値	期待値・状態
正常系	<code>Logger</code> をデフォルト構築する	<code>the_log_level : VBS</code>	ログは出力されない
		<code>the_log_level : DBG</code>	<ul style="list-style-type: none"> デバッグ版では、 <ul style="list-style-type: none"> DEBUGレベルのログが出力される 出力内容は "ファイル名,行番号,関数名,メッセージ" である リリース版ではログは出力されない
		<code>the_log_level : INF</code>	<ul style="list-style-type: none"> INFORMATIONレベルのログが出力される 出力内容は "ファイル名,行番号,関数名,メッセージ" である
		<code>the_log_level : WRN</code>	<ul style="list-style-type: none"> WARNINGレベルのログが出力される 出力内容は "ファイル名,行番号,関数名,メッセージ" である
		<code>the_log_level : ERR</code>	<ul style="list-style-type: none"> ERRORレベルのログが出力される 出力内容は "ファイル名,行番号,関数名,メッセージ" である
		<code>the_log_level : FTL</code>	<ul style="list-style-type: none"> FATALレベルのログが出力される 出力内容は "ファイル名,行番号,関数名,メッセージ" である

1.2. `asr::util::logger` 名前空間

1.2.1. `Config` クラス

1.2.2. `ILogger` クラス

インタフェースクラスであるため単体テスト対象外。

1.2.3. `LoggerFactory` クラス

1.2.4. `Spdlog` クラス